

名古屋大学初年次教育基礎セミナーへの参加

亀井千恵子

「基礎セミナー」は、「初年次教育」、「文理融合」、「少人数制のセミナー形式」の授業であり、全学「知の探究のプロセス」と「学問の面白さ」を学ばせ、自律的学習能力を育成することを目標としている。この基礎セミナーに今年度も高校2年生9名、高校3年生2名の11名が参加した。

SSH「今日の学校教育についての考察を通じた言語スキルの獲得」「遺伝子を使うと何がわかる？何ができる？」「建築ドローイングを読む」「日本文化が海外でどのように発信されているか」「感染症の原因となる病原

体に関する基礎的項目に関する課題についての調査分析」「医学生物体の最新の知識を体得する」「日常生活のフシギを科学で説明してみよう」といった、高校の授業では学ぶことのできない多岐に渡った内容の講義に、生徒は強い興味と関心をもって参加した。

半期の大学の授業であるが、大学生とともに大学の講座に参加し、ともに学ぶことにより、大学の学問研究に関する理解を深め、キャリア形成にも大いに役立っていると言える。

(文責 亀井千恵子)